



竹田津敏信さん。2輪専門誌『ライダースクラブ』編集長。かつてはRCに夢中になった経験はあるが…!?



丸山 浩さん。レーシング・ライダーであり、レーシング・ドライバーでもあるが、RCについては未体験。



大鶴義丹さん。俳優であり、監督であり、作家でもある大鶴さんは、電動RCの経験を(多少)持つ。



道上 龍さん。SUPER GTにて、TAKATA童夢NSXを操るいっぽう、RCレースでも優勝経験あり。



ラジコンの楽しさは
モータースポーツそのもの。
さあ、観ているだけの時間を捨てて
走らせてみよう。

KYOSHO
MotorSports



ahead 1/10 RC Motorsports vol.6

アフター・ザ・パーティ!

「ahead CUP」のクールダウン・ミーティング

aheadでもおなじみの面々が集まって開催した京商の「ahead CUP」。当日のレース後、まだ興奮さめやらぬメンバーが集まって、RCの面白さや奥行き、深さ、モータースポーツとしての楽しさを存分に語り合った。

文・世良耕太 写真・長谷川徹 構成・桜間 潤

丸山 パーティーに参加してみても感じたのは、最低限の技術を身につけておかないとまわりにも迷惑を掛けるし、自分も困るということです。マニュアル本などを読んで知っているつもりでも、本当にそれが正しいかどうか分からない。経験者が近くにいてくれたのは助かりました。

ahead 実際に走らせた印象はいかがでしたか?

丸山 感覚で走れないので、そこが歯がゆいですね。ウマイ人の走りを見ていると、動きが実車と同じ。コーナーの進入で、きっちり減速し、お尻を振りながら立ち上がる。頭の中では想像できるのに、その動きを作れない。そこが歯がゆい。

ahead ラジコンは見た目だけの情報で走らせますが、慣れればアンダーステアが出る感じを、あたかもフ

ロホから感じられるようになります。

丸山 それと、行きつけのショップを探さなければ、と思いました。僕は2輪の走行会を主催していますが、参加者から大抵は「行きつけのショップを探したい」というリクエストを受けます。ラジコンも同じだと思いました。燃料の調達から始まるので、行きつけのショップが欲しくなります。

ahead 大鶴さんは2輪の走行イベントにも参加していますが、ラジコンを走らせるなら、どういう形式がいいと思いますか?

大鶴 仲間プラス、ちゃんとした答えを持っている人と、一緒にいいですね。

竹田津 それ重要ですね。分からないことがあったときにチョイチョイとやってくれる人がいるとだいぶ違う。

大鶴 正直言って、僕はセッティングなんか面倒くさい。自分がまだ高校生

で、全部この先やってやるという情熱があれば別ですけど。

竹田津 近道したいですね。

大鶴 2輪の走行会はマメに行っているんだけど、あるタイムを超えたらそこはもう選手権の世界。そこまで行く気はないし、一発の怪我也怖いから、少し手前のタイムで走る。で、微妙にその集団の中で生きたい、みたいな。本業でいつも働いているので、走行会ではちょっと威張りたい。

丸山 同じレベルの仲間と走るんだけど、ひと足先に次のステップ行ってるぞ、みたいな。

ahead 京商が言うラジコンIIモータースポーツは、実際どう感じましたか?

丸山 共通点ありますね。うまくならないという気持ちになるのは実車のモータースポーツと同じ。それに、ピ

ジュアルから入れるのがいい。僕はラジコンとは言え、憧れのフェラーリを手に入れた気になった。リアルな世界では実現できないことを実現してしまっただけです。

竹田津 組み立て塗装済みなのは入りやすくいいですね。実際のレースだとお金も掛かるし、モチベーションも相当上げなければいけない。だけど、ラジコンだと同じ気持ちで手軽に味わえる。レースでグリッドに並んだときは、本当にドキドキしました。

ahead では、次に機会があったら参加していただけますか?

丸山 今度はコソ練しておきます。

竹田津 そうですね。道上さんにボディの脱着してもらっている場合じゃないですから。

大鶴 ここにいるみんなを誘ってきますよ、ぜひ。